

エマオ

知っておきたいキリスト教のことば (26)

エマオとは、聖書に出てくる地名です。ユダヤにあった小さな村で、その正確な位置はわかっていません。

聖書には「エルサレムから 60 スタディオン離れた」と書かれています。1 スタディオンは 185m なので、この記述通りだと

11km ほど離れた場所になります。しかし聖書の写本の中には「160 スタディオン」と書かれたものもあるし、そもそもルカ福音書を書いた人自身が、エマオの正確な場所を知らなかった可能性もあります。現在はエルサレムの北西 23km にあるアムワスなど、いくつかの場所がエマオの候補として考えられています。



ところで聖書の中で、「エマオ」はどのように描かれているのでしょうか。イエス様が復活された後、二人の弟子がエルサレムからエマオに向かって歩いていました。彼らは女性たちが天使からイエス様が生きておられると言われたこと、またお墓が空（から）になってしまったことを信じることができずにいました。そこに一人の人が近づいて来て一緒に歩き、弟子たちがすすめるままに家に入られます。そして食事の場面でその人がパンを裂いたときに、ようやく弟子たちの目が開かれ、それがイエス様だとわかるのです。

初代教会の人たちにとって、この物語は大きな意味を持っていたのではないのでしょうか。彼らはエルサレムから、福音を伝えるために出ていきました。不安もあったでしょう。しかしイエス様は、いつも共に歩んでくださるのです。たとえそれがイエス様だと気づくことができなかったとしても、イエス様はいつも一緒にいてくださるのです。

イエス様はわたしたち一人ひとりとも、共にいてくださいます。聖餐式でパンが裂かれるたびに、イエス様を感じていきましょう。

次回は「選び」です。お楽しみに。